

# 1年生学年だより

平成 29 (2017) 年 7 月 1 8 日

第 2 4 号

吹田市立第二中学校第一学年

## いざ 文化祭！！

### テーマは 「ええねん」 ～異文化交流につながる自国文化の理解～

1 学期は、初めての中学校生活、初めてのテスト、初めての校外学習とめまぐるしく過ぎましたね。その中で、新しいことに一生懸命に取り組む 7 3 期生の姿がありました。

特に、校外学習の取り組みで、活動に前向きに取り組む姿は、すばらしいものがありました。班ごとに行き先を決め、PC を使って調べ学習を行い、それをまとめて、出てきた疑問を発表。その後、現地嵐山に行って、その疑問を F W で調べ、考察を行い発表するという活動は、班での協力なしには、成功しません。しかし、どの班も、班で協力して活動を行うことができていました。振り返りの中にも、最高の校外学習でした、班での協力が必要だということがわかりましたという声がたくさん書かれていました。この校外学習で得た「人とつながる力」をどんどん広げていって欲しいと思っています。

さて、夏休みが明けた 2 学期は、いよいよ中学校で初めての大きな学校行事。人権文化祭に取り組みます。校外学習ですごい力を見せてくれた君たちなら、パワーみなぎる素敵な文化祭を作ってくれと先生たちは、期待しています。

第二中学校の文化祭は、クラスを解体して、学年で取り組みます。部門ごとに分かれて、それぞれの活動を行い、その部門を併せてひとつの大きな舞台発表を作り上げます。



部門の力があわさった時に起きるとてつもないパワーと感動を、  
1 4 4 人全員で作って上げましょう。

文化祭という行事を通して、君たちに伝えたいメッセージがあります。それが、今回の舞台発表のテーマである「ええねん」～異文化交流につながる自国文化の理解～です。

京都・嵐山で、F W を行う中で、多くの方が外国人にインタビューをしたり、日本の文化や歴史、風景に触れるということをしてしました。校外学習で学んだ日本文化を通して、もっともっといろいろな年代の人や国の人、文化などに興味を持って欲しいのです。深い学びは、自分の視野や考え方を広げ、自分自身を大きく成長させてくれます。また、学ぶ中でいろいろな人とつながりを持ち、その中で、相手を理解する気持ちを学ぶことができれば、誰にとっても居心地のよい空間を作っていくことができます。

4 月に、学年で大切にしたいこと 4 つを君たちに伝えました。覚えていますか。

#### ☆「仲間を大切にする」

- ・自分一人ではできることは少ない。<sup>なかま</sup>仲間を助ける。仲間に助けてもらう。
- ・仲間をリスペクトする。いろんな場面で仲間の<sup>とく</sup>得意なこと、いいところを認めていこう。
- ・プラスの声かけをする。<sup>がんば</sup>頑張っている人に<sup>はげ</sup>励ましの言葉をかけられる学年になろう。

4 つの中のひとつ「仲間を大切にする」を、この文化祭で、意識して、たくさんの仲間とつながっていった欲しいと思います。



最後に、文化祭で歌う曲についてです。曲は、2 曲。ウルフルズ「ええねん」と槇原敬之「僕が一番ほしかったもの」です。

「ええねん」は、いろんな人や文化、歴史などがあってええねん。とにかく前向きに、プラス思考で、何事にも取り組んで欲しい、そのひたむきな気持ちがあればええねん。という思いを込めました。歌詞の 2 番「アイディアなんか ええねん～」以降が、特に伝えたい歌詞です。

「僕が一番ほしかったもの」は、歌詞のすべてがメッセージです。学年で大切にしたいこと「仲間を大切にする」ということにつなげて、1 4 4 人一人ひとりが、歌詞を読み込んで、思いを込めて、合唱してくれたらいいなあと思います。

## ええねん

作詞 作曲 トータス松本

何も言わんでも ええねん 何もせんでも ええねん  
笑い飛ばせば ええねん 好きにするのが ええねん  
感じるだけで ええねん 気持ちよければ ええねん  
それでええねん それでええねん

後悔しても ええねん また始めたら ええねん  
失敗しても ええねん もう一回やったら ええねん  
前を向いたら ええねん 胸をはったら ええねん  
それでええねん それでええねん

僕はお前が ええねん 好きでいれたら ええねん  
同じ夢を見れたら ええねん そんなステキなふたりが ええねん  
心配せんで ええねん 僕を見てれば ええねん  
それでええねん それだけで

アイディアなんか ええねん 別になくても ええねん  
ハッパリだけで ええねん 背伸びしたって ええねん  
カッときたって ええねん 終わりよければ ええねん  
それでええねん それでええねん

つっぱって突っぱしる  
転んで転げまわる  
時々ドキドキする  
そんな自分が好きなら ええねん  
そんな日々が好きなら ええねん

情けなくても ええねん 叫んでみれば ええねん  
にがい涙も ええねん ポロリこぼれて ええねん  
ちょっと休めば ええねん フッと笑えば ええねん  
それでええねん それでええねん

何もなくても ええねん 信じていれば ええねん  
意味がなくても ええねん 何かを感じていれば ええねん  
他に何もいらんねん  
他に何もいらんねん  
それでええねん  
それだけで



## 僕が一番ほしかったもの

作詞 作曲 槇原敬之

さっきとても素敵なものを 拾って僕は喜んでいた

ふと気が付いて横に目をやると 誰かがいるのに気付いた

その人はさっき僕が拾った 素敵なものを今の僕以上に

必要としている人だということがわかった

惜しいような気もしたけど 僕はそれをあげることにした

きっとまたこの先探していれば もっと素敵なものが見つかるだろう

その人は何度もありがとうと 嬉しそうに僕に笑ってくれた

その後にもまた僕はとても素敵なものを拾った

ふと気が付いて横に目をやると 誰かがいるのに気づいた

その人はさっき僕が拾った 素敵なものを今の僕以上に

必要としている人だと言う事がわかった

惜しいような気もしたけど またそれをあげる事にした

きっとまたこの先探していれば

もっと素敵なものが見つかるだろう

なによりも僕を見て嬉しそうに

笑う笑顔が見れて嬉しかった

結局僕はそんな事を何度も繰り返し

最後には何も見つけられないまま

ここまで来た道を振り返ってみたら

僕のあげたものでたくさんの 人が幸せそうに笑っていて

それを見た時の気持ちが僕の 探していたものだと思った

今までで一番素敵なものを 僕はとうとう拾うことが出来た

